

広島県聴覚障害者センターだより

H C C

Hiroshima Chosho Center

広島県聴覚障害者センター

〒734-0007 広島市南区皆実町1丁目6-29

ホームページ

電話：082-254-0085



FAX：082-254-0087

メール：minami@hiro-chokaku.jp

ホームページ：[https:// hiro-chokaku.jp](https://hiro-chokaku.jp)

2025年9月号

No.99 2025(令和7)年9月1日発行(毎月1日発行)

夏休みこどもかみしばいシアター

8月30日(土) 11人参加

「夏休みこどもかみしばいシアター」を開催しました。ボランティア4人に協力してもらい、最初に自己紹介、手話がわからない人には名前の手話表現を教えてもらいました。

次に「ミニ手話教室」ではあいさつの他、日頃よく使う手話単語の勉強をしました。

そして絵本の「ぜったいおしちゃダメ？」でボランティアの1人が手話で語ります。終盤、ボタンの絵が映し出されると子供たちがそのボタンをビヨンビヨン跳ねながら押している姿は楽しそうでした。

YouTube 紙芝居も今回初めてやりました。「もったいないばあさん。いただきます」と「パンダのどうぶつえん」では食べ物大切さや皆が仲良く暮らすことを学びました。



最後におりがみでかざぐるまを作りました。おりがみを三角の8等分にして、シールに貼っていくのが、なかなか難しかったようです。

一つの手順を終えるたびに「できましたか？」と両手でまるをつくって聞くと「できた!」と両手でまるを作って返してくれるのがほえましかったです。

かざぐるまが完成すると、嬉しそうに息を吹いて回していました。(福尾)

2025年度 意思疎通支援事業担当者研修会 名古屋

7月31日(木)～8月1日(金)の2日間、名身連聴覚言語障害者情報文化センターで開催され、全国の聴覚障害者情報提供施設から40施設52名が集まり、「改めて、コーディネーターの役割について考える」をテーマに研修しました。

1日目は、全国聴覚障害者情報提供施設協議会理事長 中西久美子さんの講義を受け、3つの事例についてグループ討議をしました。中西さんからの講評では、「皆さんは、私達(きこえない人、きこえにくい人)の一番の理解者。いっしょに社会を動かしていきましょう!」との力強い言葉が心に響きました。

2日目は、札幌と埼玉から実践報告があり、報告を受けてのグループ討議では合理的配慮について活発に意見が交わされました。また、地域の情報交換では、手話通訳者、要約筆記者不足、高齢化、若年層の養成等が共通の課題でしたが、根本的な解決には至らないまでも、各地の様々な取り組みはとても参考になりました。

合理的配慮の理解がまだ十分とは言えない現状でのコーディネーターの役割について、全国の仲間と共に、改めて考えることができた実り多い研修会でした。(山本)

